

5 病院事業

(1) 事業数及び経営規模

平成28年度における県内の市町村等が経営する病院事業の数は前年度と同数の18事業で、その病院数も前年度と同数の27病院となっている。事業数及び病院数のうち、1事業1病院（女川町）は想定企業会計である。また、石巻市立病院は東日本大震災により被災したが、平成28年9月1日から開院している（前年度以前も決算状況調査上は1病院として計上していた）。

※ 想定企業会計とは、従前は公営企業会計として特別会計を設置していたが、現在はこれを廃止し、一般会計等において精算及び地方債の償還を行っている場合等において、決算統計上、これに係る一切の収支を一般会計等から分別し、当該事業に係る公営企業会計が設けられているものと想定し、当該想定会計において経理されたものとして取り扱っている会計のことをいう。

病院（想定企業会計を除く。）を経営主体別にみると、市営が16病院、町営が6病院、一部事務組合が4病院となっている。

【市営：7事業16病院】

仙台市、石巻市（2病院）、塩竈市、気仙沼市（2病院）、登米市（3病院）、栗原市（3病院）、大崎市（4病院）

【町営：6事業6病院】

蔵王町、川崎町、丸森町、涌谷町、美里町、南三陸町

【一部事務組合：4事業4病院】

白石市外二町組合、黒川地域行政事務組合、加美郡保健医療福祉行政事務組合、みやぎ県南中核病院企業団

経営規模別にみると、300床以上は前年度と同数の6病院、200床以上300床未満も前年度と同数の1病院、100床以上200床未満は6病院で前年度に比べ1病院増加、50床以上100床未満は前年度と同数の8病院、50床未満は5病院で前年度に比べ1病院減少となっている。このうち、300床以上の病院は、仙台市立病院（525床）、大崎市民病院本院（500床）、気仙沼市立病院（404床）、みやぎ県南中核病院（310床）、公立刈田綜合病院（308床）及び栗原市立栗原中央病院（300床）で、いずれも地域の基幹病院として機能している。

また、地方公営企業法の規定の全部を適用している事業は前年度と同数の7事業（仙台市、塩竈市、登米市、栗原市、大崎市、涌谷町及びみやぎ県南中核病院企業団）、一部を適用している事業も前年度と同数の9事業、指定管理者制度（代行制）導入も前年度と同数の1事業（黒川地域行政事務組合）となっている。

第1表 経営主体別・経営規模別の状況

（単位：病院、床、％）

経営規模	市 営		町 営		一 組 営		計		構 成 比		
	病院数	病床数	病院数	病床数	病院数	病床数	病院数	病床数	病院数	病床数	
300床以上	4	1,729	0	0	2	618	6	2,347	23.1	54.6	
200床以上300床未満	1	258	0	0	0	0	1	258	3.8	6.0	
100床以上200床未満	4	591	1	121	1	170	6	882	23.1	20.5	
50床以上100床未満	3	244	4	288	1	90	8	622	30.8	14.5	
50床未満	4	152	1	38	0	0	5	190	19.2	4.4	
計（病院）	16	2,974	6	447	4	878	26	4,299	100.0	100.0	
経営形態	全部適用	5		1		1		7		41.2	
	一部適用	2		5		2		9		52.9	
	指定管理者(代行制)	0		0		1		1		5.9	
	計（事業）	7		6		4		17		100.0	

（注）病院数は、年度末現在の数である。

(2) 業務の状況

平成28年度末における病床数は4,299床で、前年度に比べ171床(4.1%)増加している。病院別では、石巻市立病院が180床の増床、公立刈田総合病院が9床の減床を行っている。

患者数は、年延入院患者数が1,096千人で、前年度に比べ21千人(2.0%)増加し、年延外来患者数は1,982千人で、前年度に比べ43千人(2.1%)減少している。また、1病院当たりの1日平均入院患者数は117人で、前年度と同数であり、1病院当たりの1日平均外来患者数は316人で、前年度に比べ14人(4.2%)減少している。

病床利用率は71.1%で、前年度に比べ1.3ポイント低下している。このうち、一般病床利用率は71.6%で、前年度に比べ1.6ポイント低下している。

平成28年度末における職員数は5,267人で、前年度に比べ200人(3.9%)増加している。

第2表 病床数及び患者数の推移

年 度		24	25	26	27	28	対前年度比較	
							b - a	(c/a) ×100(%)
項 目		a	b	c	a	b	c	×100(%)
年 延 患 者 数 (千人)	入 院	1,116	1,091	1,046	1,075	1,096	21	2.0
	外 来	2,118	2,071	2,019	2,026	1,982	▲43	▲2.1
一 日 平 均 患 者 数 (人/1病院)	入 院	127	120	115	117	117	0	0.0
	外 来	329	321	328	330	316	▲14	▲4.2
病 床 利 用 率 (%)		(71.1) 71.0	(73.2) 73.4	(71.7) 71.4	(73.2) 72.4	(71.6) 71.1	(▲1.6) ▲1.3	— —
年度末職員数	B	4,747	4,832	4,944	5,067	5,267	200	3.9
一 床 当 たり 年 度 末 職 員 数	B/A	1.10	1.18	1.23	1.23	1.23	▲0.00	—

(注)病床利用率欄の()内は、一般病床分である。

(3) 経営状況

ア 損益収支の状況

病院事業の経常収益は927億35百万円、経常費用は982億6百万円となっており、この結果、経常収支比率が94.4%となり、前年度に比べ0.4ポイント上昇している。

経常利益が生じた事業は17事業(想定企業会計を除く。)のうち2事業(病院数では26病院のうち6病院)で、前年度と同数(病院数は2病院増加)となっており、その額は143百万円で、前年度に比べ97百万円(210.0%)増加している。

経常損失が生じた事業は15事業(20病院)で、前年度と同数(病院数は2病院減少)となっており、その額は56億14百万円で、前年度に比べ1億21百万円(2.1%)減少している。

経常収益に特別利益を加えた総収益は970億67百万円、経常費用に特別損失を加えた総費用は997億26百万円となっており、この結果、総収支比率は97.3%で、前年度に比べ2.4ポイント上昇している。

経常損益に特別損益を加減した純損益をみると、26億59百万円の純損失が生じており、前年

度に比べ純損失が22億8百万円(45.4%)減少している。

累積欠損金を有する事業は16事業(25病院)で、前年度と同数(病院も同数)となっており、その額は847億98百万円で、前年度に比べ27億13百万円(3.3%)増加している。

不良債務を有する事業は3事業で、前年度に比べ1事業増加(病院数は1病院増加)となっており、その額は4億96百万円で、前年度に比べ2億70百万円(119.4%)増加している。

第3表 病院事業の損益収支状況の推移

(単位:百万円、%)

項目	年 度	24	25	26	27	28	対前年度比較	
							b - a	(c/a) × 100
					a	b	c	
総 収 益	A	81,321	81,851	86,025	91,272	97,067	5,796	6.4
経 常 収 益	B	80,757	81,348	83,591	89,312	92,735	3,424	3.8
医 業 収 益	C	71,624	72,204	72,317	78,146	79,362	1,216	1.6
うち料金収入		65,204	65,634	65,517	70,866	71,927	1,060	1.5
うち受託工事収益	D	0	0	0	0	0	0	—
特 別 利 益		564	503	2,434	1,960	4,332	2,372	121.0
総 費 用	E	82,683	84,006	100,801	96,139	99,726	3,588	3.7
経 常 費 用	F	82,321	83,819	88,579	95,000	98,206	3,206	3.4
医 業 費 用		78,913	80,482	84,224	89,882	93,120	3,238	3.6
うち職員給与費		37,188	37,716	38,934	40,105	41,962	1,857	4.6
支 払 利 息		1,637	1,542	1,665	1,755	1,652	▲103	▲5.9
特 別 損 失		362	187	12,222	1,138	1,520	382	33.5
経 常 損 益		▲1,564	▲2,470	▲4,988	▲5,689	▲5,471	218	▲3.8
経 常 利 益		1,576	1,220	55	46	143	97	210.0
経 常 損 失	G	3,140	3,690	5,043	5,735	5,614	▲121	▲2.1
純 損 益		▲1,362	▲2,155	▲14,776	▲4,867	▲2,659	2,208	▲45.4
純 利 益		1,715	1,372	12	182	2,178	1,997	1,097.8
純 損 失		3,077	3,527	14,789	5,049	4,837	▲212	▲4.2
累 積 欠 損 金	H	71,477	68,402	77,827	82,085	84,798	2,713	3.3
不 良 債 務	I	231	0	827	226	496	270	119.4
経 常 収 支 比 率 B/F		98.1	97.1	94.4	94.0	94.4	0.4	—
総 収 支 比 率 A/E		98.4	97.4	85.3	94.9	97.3	2.4	—
医業収益 に対する 割合	経常損失比率 G/(C-D)	4.4	5.1	7.0	7.3	7.1	▲0.3	—
	累積欠損金比率 H/(C-D)	99.8	94.7	107.6	105.0	106.8	1.8	—
	不良債務比率 I/(C-D)	0.3	0.0	1.1	0.3	0.6	0.3	—
総 事 業 数	J	18	18	18	18	18	0	0.0
経常損失を生じた事業数	K	11	14	12	15	15	0	0.0
累積欠損金を有する事業数	L	18	17	17	16	16	0	0.0
不良債務を有する事業数	M	2	2	0	2	3	1	50.0
総事業数 に対する 割合	経常損失を生じた事業数 K/J	61.1	77.8	66.7	83.3	83.3	0.0	—
	累積欠損金を有する事業数 L/J	100.0	94.4	94.4	88.9	88.9	0.0	—
	不良債務を有する事業数 M/J	11.1	11.1	0.0	11.1	16.7	5.6	—

(注)不良債務=(流動負債-建設改良等の財源に充てるための企業債-建設改良等の財源に充てるための長期借入金-地方債に関する省令附則第8条の3に係るリース債務(PFI法に基づく事業に係る建設事業費等))- (流動資産-翌年度へ繰り越される支出の財源充当額)

イ 資本収支の状況

病院事業の資本的支出は344億32百万円で、前年度に比べ25億6百万円（7.8%）増加している。このうち、建設改良費は194億52百万円で、前年度に比べ8億94百万円（4.4%）減少しており、企業債償還金は148億28百万円で、前年度に比べ45億10百万円（43.7%）増加している。

資本的支出の財源は、外部資金が企業債や他会計出資金等の283億35百万円であり、内部資金（資本的収入が資本的支出に不足する分の補てん財源）が損益勘定留保資金等60億66百万円である。

なお、資本的支出に占める建設改良費の割合は56.5%で、前年度に比べ7.2ポイント低下しており、建設改良のための企業債償還金の割合は32.2%で、前年度に比べ1.3ポイント上昇している。

第4表 病院事業の資本収支状況の推移

(単位:百万円、%)

年 度		24	25	26	27	28	対前年度比較	
							b - a	(c/a)
項 目		a	b	c	×100			
						資本的支出		
	建設改良費	10,683	27,112	20,830	20,346	19,452	▲894	▲4.4
	企業債償還金	5,858	5,923	5,881	10,317	14,828	4,510	43.7
	うち建設改良費のためのもの	4,940	5,492	5,447	9,850	11,081	1,231	12.5
	その他	1,191	505	432	1,262	152	▲1,111	▲88.0
	計	17,732	33,540	27,158	31,926	34,432	2,506	7.8
同 上 財 源	内部資金	2,877	1,808	2,082	2,904	6,066	3,163	108.9
	外部資金	14,855	29,791	25,016	28,960	28,335	▲625	▲2.2
	企業債	6,317	16,521	17,861	6,553	8,150	1,597	24.4
	うち建設改良費のためのもの	5,827	16,521	17,861	6,553	8,150	1,597	24.4
	他会計出資金	4,553	7,666	4,986	4,693	4,879	186	4.0
	他会計負担金	193	553	941	1,001	1,477	476	47.5
	他会計借入金	0	0	39	0	0	0	—
	他会計補助金	196	529	452	517	82	▲435	▲84.1
	国・県補助金	3,385	4,564	2,687	14,692	13,677	▲1,015	▲6.9
	繰越事業財源(▲)	23	23	103	57	56	▲1	▲1.8
	計	17,732	31,599	27,097	31,864	34,402	2,538	8.0
財源不足額		0	1,941	61	62	30	▲32	▲51.1
当年度同意等債で未借入又は未発行の額		0	1,941	0	0	0	0	—
実質財源不足額		0	0	61	62	30	▲32	▲51.1

(注)1 内部資金=補てん財源合計額-前年度からの繰越工事資金+固定資産売却代金

2 外部資金=資本的支出額-(内部資金+財源不足額)

ウ 料金収入の状況

料金収入（入院・外来収益）は719億27百万円で、前年度に比べ10億60百万円（1.5%）増加している。

患者1人1日当たりの診療収入は、入院収益が4万3,293円で、前年度に比べ131円（0.3%）増加しており、外来収益が1万2,347円で262円（2.2%）増加している。

職員1人1日当たりの診療収入は、医師1人当たりでは27万7,363円で9,570円（3.3%）減少しており、看護部門1人当たりでは5万5,625円で241円（0.4%）減少している。

第5表 料金収入の状況の推移

（単位：円、%）

年 度	項 目	24	25	26	27	28	対前年度比較	
					a	b	b - a c	(c/a) ×100
	料 金 収 入（百万円）	65,204	65,634	65,517	70,866	71,927	1,060	1.5
内 訳	入院収益（百万円）	43,117	43,398	43,078	46,387	47,454	1,067	2.3
	外来収益（百万円）	22,087	22,236	22,439	24,479	24,473	▲6	0.0
患者1人1日 当たり診療 収 入	入 院	38,633	39,777	41,198	43,162	43,293	131	0.3
	外 来	10,429	10,736	11,116	12,085	12,347	262	2.2
職員1人1日 当たり診療 収 入	医 師	282,617	275,580	276,894	286,933	277,363	▲9,570	▲3.3
	看護部門	53,624	52,887	54,225	55,867	55,625	▲241	▲0.4

エ 他会計繰入金の状況

他会計からの繰入金（借入金を含む。）は、収益的収入（特別利益を含む。）に計上される繰入金が131億47百万円、資本的収入に計上される繰入金が64億38百万円、合わせて195億85百万円で、前年度に比べ3億71百万円（1.9%）増加している。

収益的収入に計上される他会計からの繰入金の総収益に対する割合は13.5%で、資本的収入に計上される他会計からの繰入金の資本的収入合計に対する割合は21.8%で、前年度に比べ0.4ポイント上昇している。

病床1床当たりの他会計からの繰入金は455万6千円で、前年度に比べ99千円（2.1%）減少している。

第6表 他会計からの繰入金の状況の推移

（単位：百万円、%）

項 目		年 度					対前年度比較		
		24	25	26	27	28	b - a	(c/a)	
							c	×100	
他 会 計 か ら の 繰 入 金	収 益 的 収 入 A	11,895	11,492	12,295	13,002	13,147	145	1.1	
	うち	負 担 金	9,226	8,962	9,184	9,474	10,334	859	9.1
		補 助 金	2,126	2,043	2,301	2,326	2,799	473	20.4
		資 本 費 繰 入 収 益	—	—	0	0	0	0	—
		特 別 利 益	543	486	810	1,202	14	▲1,188	▲98.8
	資 本 的 収 入 B	4,942	8,749	6,418	6,212	6,438	226	3.6	
	うち	出 資 金	4,553	7,666	4,986	4,879	4,879	0	0.0
		負 担 金	193	553	941	1,477	1,477	0	0.0
		借 入 金	0	0	39	0	0	0	—
		補 助 金	196	529	452	82	82	0	0.0
計 (A+B) C		16,837	20,241	18,713	19,214	19,585	371	1.9	
総 収 益 D		81,321	81,851	86,025	91,272	97,067	5,796	6.4	
資 本 的 収 入 E		14,864	29,787	25,018	29,145	29,600	455	1.6	
繰 入 率	総収益に対する繰入率 A/D	14.6	14.0	14.3	14.2	13.5	▲0.7	—	
	資本的収入に対する繰入率 B/E	33.2	29.4	25.7	21.3	21.8	0.4	—	
一 床 当 た り	収 益 的 収 入 (千円)	2,755	2,822	3,055	3,150	3,058	▲92	▲2.9	
	資 本 的 収 入 (千円)	1,144	2,149	1,595	1,505	1,498	▲7	▲0.5	
	計 (千円)	3,899	4,971	4,649	4,655	4,556	▲99	▲2.1	

※ 一床当たり繰入金 = $\frac{\text{他会計繰入金}}{\text{年度末病床数}}$

オ 職員給与費の状況

職員1人当たり平均給与月額、医師が149万5,558円、看護師が45万2,926円、准看護師が45万9,561円、事務職員が52万1,654円、その他の職員が42万7,036円、全職員平均では56万330円で、前年度に比べ1万3,746円(2.5%)増加している。

第7表 職員別給与(平均給与月額)の状況の推移

(単位:円、%)

年 度 項 目	24	25	26	27 a	28 b	対前年度比較	
						b - a c	(c/a) ×100
医 師	1,457,526	1,448,895	1,474,765	1,331,146	1,495,558	164,412	12.4
看 護 師	445,292	439,832	455,366	447,856	452,926	5,070	1.1
准 看 護 師	470,854	472,569	441,987	449,261	459,561	10,300	2.3
事 務 職 員	505,582	500,546	534,016	517,497	521,654	4,157	0.8
そ の 他 職 員	428,234	425,867	418,239	429,740	427,036	▲2,704	▲0.6
全 職 員	552,822	548,238	560,046	546,584	560,330	13,746	2.5

(注)1 管理者及び臨時職員を除く。

2 平均給与月額=(基本給+手当)/年間延職員数

カ 業務量の状況

職員1人当たりの患者数は584人で、前年度に比べ27人(4.5%)減少しており、職員1人当たりの料金収入は1,364万1千円で、前年度に比べ32万6千円(2.3%)減少している。

病床100床当たりの職員数は、医師が17.3人、看護部門職員が84.3人、全職員では142.2人で、前年度に比べ2.2人(1.5%)減少している。

第8表 職員業務量の状況の推移

年 度 項 目	24	25	26	27 a	28 b	対前年度比較		
						b - a c	(c/a) ×100(%)	
職員1人当たり患者数(人)	678	652	618	611	584	▲27	▲4.5	
職員1人当たり料金収入(千円)	13,675	13,527	13,214	13,967	13,641	▲326	▲2.3	
病床100 床当たり 職員数	医 師(人)	15.2	16.8	16.2	16.4	17.3	0.9	5.5
	看 護 部 門(人)	78.7	86.5	84.6	86.8	84.3	▲2.5	▲2.9
	全 職 員(人)	130.5	143.8	136.6	144.4	142.2	▲2.2	▲1.5

キ 材料費の状況

薬品等の医療材料費は170億28百万円で、前年度に比べ1億26百万円（0.7%）増加している。これを料金収入に対する割合で見ると23.7%で、前年度に比べ0.2ポイント低下している。

医療材料費のうち、薬品費は89億97百万円で、前年度に比べ3億78百万円（4.0%）減少しており、患者1人当たりの薬品費は2,923円で、前年度に比べ101円（3.3%）減少している。

薬品使用効率は、投薬分が125.6%、注射分が86.1%、平均で98.8%となっており、前年度に比べ1.9ポイント低下昇している。

第9表 料金収入に対する材料費の状況の推移

（単位：百万円、%）

項 目		年 度					対前年度比較		
		24	25	26	27 a	28 b	b - a c	(c/a) ×100	
料 金 収 入		65,204	65,634	65,517	70,866	71,927	1,060	1.5	
医 療 材 料 費		14,481	14,793	14,893	16,902	17,028	126	0.7	
う ち	薬 品 費	7,883	8,107	7,845	9,375	8,997	▲378	▲4.0	
	そ の 他 材 料 費	6,597	6,685	7,049	7,527	8,031	504	6.7	
料金収入 に対する 割 合	医 療 材 料 費	22.2	22.5	22.7	23.9	23.7	▲0.2	—	
	う ち	薬 品 費	12.1	12.4	12.0	13.2	12.5	▲0.7	—
		そ の 他 材 料 費	10.1	10.2	10.8	10.6	11.2	0.5	—
患者1人当たり薬品費（円）		2,438	2,564	2,560	3,024	2,923	▲101	▲3.3	
薬品使用 効 率	投 薬	126.5	129.9	132.2	125.8	125.6	▲0.1	—	
	注 射	85.5	83.0	83.0	86.1	86.1	0.0	—	
	平 均	100.4	99.0	98.9	100.7	98.8	▲1.9	—	